

舞鶴から希望の京都をつくろう！ ～地域力の創造と市民の幸せを目指す～

京都府議会議員 池田まさよし通信 [第16号]

〒624-0853 舞鶴市南田辺71番地1 TEL:0773-77-1722 FAX:0773-77-1723 ホームページ <http://www.ikedakai.net>

桜のつぼみも膨らみはじめ、春の季節となりましたが、如何お過ごしでしょうか。さて、二月定例会は二月十七日に開会され三月二十三日の閉会まで、平成二十七年補正予算と平成二十八年当予算などを審議してきました。当初予算は、京都府地域創生戦略のスタートの年にあたり、将来を見通した四つの京都づくりを掲げ、少子高齢化対策や京都産業のイノベーションに取り組み「京都創生」予算として、二月補正予算も含めた十四か月予算として編成され、「人づくり」、「働きづくり」、「地域・文化づくり」そして、「安心づくり」に取り組みものです。府税収入が、前年度に比べ二一〇億円の増収みこみであるとはいえ、依然として厳しい財政状況にある中で、少子高齢化対策総合戦略をはじめ、子どもの貧困対策、女性・若者・高齢者・障害者が輝く京都づくりなど、喫緊の課題に対して、積極的な予算配分を行いつつ、中小企業の未来戦略や環境・エネルギー総合戦略、「も



京都府議会議員 池田正義

うひとつの京都」などの京都の個性を活かした地域戦略、さらには、医療・介護・福祉の安心事業や防災まちづくり総合対策など、将来を見据えた予算編成に取り組みされたところであります。審議の結果、平成二十七年補正予算及び平成二十八年当予算は可決しました。

北陸新幹線敦賀以西のルートについてですが、京都府議会は昨年十二月に「関西メカリージョンの早期実現を求める意見書」を国に提出し、京都舞鶴港をもつ舞鶴市域を通り、関西国際空港につながる必要としました。北部五市二町では、さる三月五日に北陸新幹線敦賀以西の延伸について、舞鶴市など府北部を通るルートを実現しようと、「北陸新幹線京都府北部ルート誘致促進同盟会」の設立総会と、決起大会を綾部市の京都府中丹文化会館で開催し、総決起大会には一般市民を含む約一〇〇人が参加しました。北陸新幹線舞鶴ルート誘致の実現に向けても頑張りましたよ！



平成27年度2月補正予算および平成28年度当初予算(14か月予算)の概要 総額9,756億5,800万円

① 人づくり

- ◆「子育てピア」サポート事業 2億400万円
- ◆京の子育て応援総合融資等事業 12億9,200万円
- ◆京都市「学力向上教育サポーター」事業 1億3,100万円
- ◆私立高等学校あんしん修学支援事業 39億2,600万円
- ◆1(ひと)まち1(ひと)キャンパス事業 3,000万円
- ◆「女性輝き」事業 9,200万円

② 働きづくり

- ◆「小さな企業」特別支援事業 1億3,000万円
- ◆「企業の森」事業(中小企業への支援) 10億7,500万円
- ◆商店街・商店群創生事業 1億4,000万円
- ◆未来を担う中小企業人財確保事業 1億1,200万円
- ◆障害者雇用率2.2%達成事業 3億8,300万円
- ◆再生可能エネルギー倍増事業 17億8,100万円

③ 地域文化づくり

- ◆「森の京都」事業(全国育樹祭開催含む) 24億9,200万円
- ◆「お茶の京都」事業 14億8,100万円
- ◆きょう住(ずまい)促進事業 1億7,400万円
- ◆スポーツ・文化・ワールド・フォーラム開催事業 3,000万円
- ◆障害者スポーツ振興事業 6,800万円

④ 安心づくり

- ◆京都市域包括ケアセカンドステージ事業 57億2,500万円
- ◆予測型犯罪防衛システム(京都システム)構築事業 5,900万円

「京都創生」未来対策

- ◆けいはんな「スマート京都」推進事業 2億4,200万円
- ◆「もうひとつの京都」広域DMO設立事業 1億3,300万円



1月10日 消防出初式



1月15日 「護衛艦まつゆき」見送り



1月29日 府行政書士会 太田会長と



2月11日 建国記念日 ケントギルバートさんと

2016年 1月~3月 池田まさよし 活動報告



3月5日 北陸新幹線京都府北部ルート誘致促進同盟会 総決起大会開催



2月23日 きもの議会



2月27日 土屋副大臣 海の京都視察



3月8日 日タイ親善議連総会



3月12日 原子力防災訓練 舞鶴市にて



3月13日 池田まさよし府政報告会



3月16日 とれとれセンター創立20周年記念式典



3月19日 府子ども療育センター竣工式 吉川学長と

池田まさよし事務所 ご案内

西事務所 (舞鶴市南田辺71番地1)



TEL(0773) 77-1722
FAX(0773) 77-1723
オープン時間 10:00~16:00

西舞鶴駅より徒歩3分です。京都北都信用金庫舞鶴中央支店、国道27号線をはさんで向かいです。駐車場は事務所前または西駅市営駐車場をご利用下さい。

東事務所 (舞鶴市森本町 29-5)



TEL(0773) 77-5670
FAX(0773) 77-5671
オープン時間 10:00~16:00

✉ m.ikedai@kyotofugikai.jp

~お知らせ~

2016ダブルタッチ 海の京都大会IN舞鶴開催!

会場 舞鶴赤れんがパーク5号棟 及び 東体育館

参加者: 京都府及び京阪神地区の大学生等(約200名)
 協力: 京都府内の各大学生
 ダブルタッチチーム「FAT MAN CREW」
 日本ダブルタッチ協会公認インストラクター
 (大島稔史さん、北川祐祐さん他5名)
 フリースタイルフットボール世界チャンピオン
 ALEG-Re(アレック)協力参加予定
 主催: ダブルタッチ海の京都大会実行委員会

5月14日(土) 地元学生との交流など
 各地発=舞鶴市東体育館=宮津ロイヤルホテル(泊)交流会
 9:30~16:00 17:00
 5月15日(日)
 ホテル=清掃奉仕活動=赤れんがパーク(5号棟)=各地
 10:00~11:00 13:00~17:00

いつでもお気軽にお立寄りください。市民の皆様からのご意見・ご質問も受け付けております。

二月定例会 一般質問に登壇!

舞鶴市西地区の高野川浸水対策を!

【質問】 西地区の中心市街地では、府管理の高野川と舞鶴市管理の大手川の氾濫等により度々浸水被害が発生している。総合的な治水対策の推進には、本府と舞鶴市の連携が不可欠だが、本府と舞鶴市による総合的な治水対策の検討状況及び今後の予定について知事の所見を伺いたい。

【知事答弁】 舞鶴市と連携して、総合的な治水対策の検討を進めるため、今年度は「高野川流域における総合的な治水対策に関する調整会議」を二回開催して、効率的な対策案を検討するため協議・調整を実施しました。その中で、平成十六年台風二十三号による浸水被害を概ね解消することを目標とした場合に、①高潮対策として、市が排水路等からの逆流を防止するためのフラップゲート、逆流の防止弁を高野川への排水口に設置する②また、洪水対策として、府が高野川の堤防の必要な箇所の高上げや流下能力が不足する箇所の河道断面拡大、河床掘削を行う③そして、内水対策としては、舞鶴市による内水排除ポンプの設置と貯留施設等の整備を行うという役割分担のもとで、

対策の具体化を図っていきます。昨年十二月十八日は、地元自治会や商工会関係者などで組織された「舞鶴市西地区地浸水対策促進協議会」からの要望もあるため、対策をしっかりとこの協議会でも説明して、御理解をいただきながら、今後、来年度中を目標に、具体的な対策案、どういう範囲で、どういう順序で行うかが重要ですので、これを決めていき、その後、河川整備基本方針と河川整備計画の策定を進めていきます。



総合的な治水対策が必要な高野川

【質問】 ※アセットマネジメントによる計画的な点検と補修による施設の延命化が重要であるが、伊佐津川に架かる府道余部下舞鶴港線の大和橋は、架橋後八十年が経過し、塩害による老朽化が著しく、幅員も狭く大型車の離合も困難な状況にある。地域の産業振興や通学路、日常生活の機能確保のためにも防災機能等とも整合を図った改築を行う必要があると考えるがどうか。

【答弁】 アセットマネジメントの取り組みについて、京都府では橋梁等の長寿命化計画を作成し、計画的な点検と補修による施設の延命化の取り組みを進めてきました。

伊佐津川に架かる大和橋は、交通量が一日あたり約三六〇台と、地域の産業振興や日常生活を担っている橋ですが、昭和十一年の架設以来、八十年が経過し、塩害による劣化や老朽化のための損傷については、長寿命化を見据えた抜本的な補修というよりはむしろ、安全性確保を最重点において、点検により損傷等を発見した段階で、床板や橋脚の剥離したコンクリートの部分的な修復などを行ってきました。平



老朽化がすすむ大和橋
※ アセットマネジメント…資産を効率よく運用すること。

伊佐津川に架かる大和橋の架け替えを急げ!

成二十六年に、新たに道路法で定められた橋梁点検において、長寿命化を見据えて本格的な点検を行ったところ、新たな床板の劣化や主桁の変形等が確認され、補修・補強には、多額の費用を要する可能性もあると考えています。このため、現在、長寿命化のための補修・補強工法や架替案との比較などその費用対効果の検討を行っているところであり、河川改修の進展など、総合的な計画をしながら、効率的、効果的な取組となるよう市など地元の要望や意見を聞きながら早急に対応、検討してまいります。

海の京都DMOについて、課題と今後の展開は

【質問】 観光と地域づくりを一体化して進める海の京都DMOを組織し、北都五市二町及び観光協会が密接に連携を図りながら、観光振興に取り組み海の京都観光事業の成果と課題について、海の京都DMOが果たすべき機能や法人の設立形態について、どのように考えているのか。

【答弁】 本年度は「海の京都博」を開催しましたが、主要観光施設の入込客数が三割伸びたほか、カフェやレストラン等の新規開設を始めとした民間の

投資も進展するとともに、戦略拠点以外の地域でも取組みが広がっています。さらに、「海の京都」事業を通じて各市町の連携機運が高まり、七市町の市長・町長による北部地域連携都市圏形成宣言に結びつくという成果につながっています。

しかしながら、課題として、「①地域の関連事業者や住民の皆さんの多様な関係の巻き込みが十分でないこと②データの収集・分析・活用が十分には進んでおらず、変化し多様化する市場に十分には対応できておらず、情報発信が各市町バラバラであること③地域主導、民主導の観光地域づくりにはまだ至っていないこと」等の課題があることと認識しています。

DMOの設立にあたっては、「①運営に必要な財源の確保方法②多様な関係者の参画方法③効果的なエリア・マネジメントや地域全体のサービス水準の向上、CS(顧客満足)の向上など、民間的手法の導入方法④トップ人材をはじめ人材の確保」こういった多くの検討課題もあり、組織の設立形態も含めて、現在、関係市町、観光協会等の関係者と御相談をしていますが、地域の総力が結集できるよう最適な体制づくりを進めます。

小さな拠点事業における京都府の取組について

【質問】 国の「小さな拠点事業」の京都府版であるコミュニティ・コンビニ整備事業は、住民の生活に密着した地域性の高い取組と聞いているが、本府ではどのように取り組むのか。また、本府はその中でどのような役割を果たすのか。

【答弁】 過疎・高齢化が進む中山間地域等において、それぞれの地域でコミュニティが持続可能となるように、市町村の未利用施設等を有効活用して、地域住民の暮らしに不可欠な買い物や銀行・郵便などのサービスをワンストップで提供する、いわば、地域コミュニティを支えるコンビニエンスストアのような便利な拠点をつくるものです。

こうした新しい仕組みづくりに取り組む地域を数カ所選定し、整備を推進していくにあたっては、拠点と周辺地域を公共交通などで結び、生活に必要な基礎的サービスをできる限りフルセットで提供できるように努めるとともに、新しいサービスの提供・開発にも積極的に取り組み、人口減少時代の地域コミュニティを支える、他の地域にとっても小さな拠点のモデルとなるようなものを作ります。

本府の役割については、まず、ハ



住民の生活に密着したコンビニエンスストア



舞鶴湾から赤れんがパークを望む